



# 細倉を 記録した 寺崎英子の まなざし展

《カラー編》

宮城県北西部、奥羽山脈の山麓の町鶯沢に  
細倉鉱山という、鉛や亜鉛を産出した  
日本で有数の鉱山がありました。  
1941年、旧満州に生まれた寺崎英子は、  
家族とともに細倉に移り住み、  
家業の売店を生業にしてみました。  
鉱山の閉山が発表されると、  
寺崎はカメラを手にし、その後の細倉と  
そこに暮らす人々の行方を撮影してきました。  
このプロジェクトは、  
2016年5月、75歳で亡くなった寺崎英子から託された、  
約1万1千カットのネガをアーカイブし、  
写真集刊行を目指すものです。  
昨年モノクロ写真に続き、  
今回はスキヤンが終了したカラーネガから、  
約250点の写真を、新たに見つけた資料とともに紹介します。

2018年

11月17日(土)～12月27日(木)

せんだいメディアテーク 7fラウンジ 入場無料

9:00～22:00 11月22日(木)は休館日

主催……寺崎英子写真集刊行委員会、せんだいメディアテーク

協力……仙台写真月間2018

助成……一般財団法人 地域創造

時代に翻弄され

閉山した鉱山の町、細倉

人々が去り

長屋が解体された後に

寺崎英子の眼は

植物へと向かって行く――



寺崎英子 (てらさきえいこ)

1941年、旧満州生まれ。終戦後、宮城県鶯沢町細倉(現在の栗原市)に家族とともに移住。幼少期に脊髄カリエスを患い闘病後、家業の商店の経理で生計を担う。細倉鉱山の閉山が発表された直後から鉱山の町に暮らす人々を撮り始め、モノクロネガ246本、カラーネガ140本を残す。2016年5月急逝。

◎キャラクタートーク

「ひとびとの細倉・寺崎英子と私」12月9日(日) 14時～15時半  
寺崎さんの写真を見ながら、感想やエピソードを皆で自由に話します。  
進行⇒小岩勉(写真家)

◎左記の日程で寺崎英子写真集刊行委員会のスタッフが滞在します。  
14時～17時― 11月17(土)、18(日)、24(土) 12月1(土)、15(土)、22(土)、27(木)

◎寺崎英子写真集刊行委員会は、

せんだいメディアアテーク・メディアスタディーズのプロジェクトとして、  
寺崎英子が遺した写真のアーカイブを進めています。  
これまでの活動は、ウェブサイトでご覧下さい。  
<https://www.smt.jp/projects/hosokura/>

このプロジェクトをお手伝いいただけるボランティアを、随時募集しています。  
お問い合わせは [koiw@com.home.ne.jp](mailto:koiw@com.home.ne.jp) ― 09-08788-5474 (小岩)

〈関連企画 仙台写真月間2018(第2週)〉

寺崎英子×小岩勉「細倉を記録する寺崎英子が遺したフィルム」

2018年10月16日(火)～10月21日(日) 11時～19時(最終日17時まで)

会場⇒仙台アーティストストランプレイス Space A

仙台市青葉区錦町1-12-7 門脇ビル1階

022-222-0654

<http://www.bookshelf.ocn.ne.jp/>

協力⇒せんだいメディアアテーク